

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社 藤商事

上場取引所 大

コード番号 6257 URL <http://www.fujimaruken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀

TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,553	178.7	2,665	—	2,677	—	1,215	—
23年3月期第1四半期	4,504	△49.7	△636	—	△585	—	△390	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4,884.37	—
23年3月期第1四半期	△1,533.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	50,738	41,332	81.5
23年3月期	48,258	40,710	84.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 41,332百万円 23年3月期 40,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,250.00	—	2,250.00	4,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2,250.00	—	2,250.00	4,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	64.7	1,000	—	1,000	—	600	—	2,410.07
通期	37,000	56.1	2,000	—	2,000	—	1,200	—	4,820.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	254,955 株	23年3月期	254,955 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,000 株	23年3月期	6,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	248,955 株	23年3月期1Q	254,955 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成23年7月29日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災の影響を受け、企業業績の低迷や個人消費の冷え込みに加え、雇用情勢の改善では足踏みが続くなど、景気は依然として厳しい状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、震災発生後、レジャーに対する自粛ムードの高まりや、東日本を中心とした広告活動の自粛や営業時間の短縮などにより、パチンコホールの稼働は低下しておりましたが、4月中旬以降からは、震災前に近い水準まで回復しております。

遊技機業界におきましても、震災後、電子部品の調達難から遊技機の供給不足が懸念されておりましたが、販売延期などは一部の機種にとどまり、パチンコホールでの新台入替も順次再開されたこともあり、市場全体の供給台数については、限定的な影響にとどまりました。

このような状況のもと当社は、遊技機のスペックの充実や演出方法の向上、ゲーム構成の進化など、長期間の稼働を実現する要素の追求とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。パチンコ遊技機につきましては、著名著作権とのタイアップ機種のほか、前事業年度発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプなどを追加販売し、各機種ともに販売活動は順調に推移しました。

この結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高125億53百万円（対前年同期比178.7%増）、営業利益26億65百万円（前年同期は営業損失6億36百万円）、経常利益26億77百万円（前年同期は経常損失5億85百万円）、四半期純利益12億15百万円（前年同期は四半期純損失3億90百万円）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

#### （パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、歴代シリーズ最大ボリュームの新演出とバトルボーナスを搭載した「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」（平成23年4月発売）、出玉感が爽快な捕り物パチンコ「CR八丁堀の七人」シリーズ（平成23年6月発売）のほか、前事業年度発売機種の手軽に安く遊べるタイプなど（CR新暴れん坊將軍 不死身の闇鳥）を発売しました。

以上の結果、販売台数は40千台（対前年同期比179.7%増）、売上高125億53百万円（同178.7%増）となりました。

#### （パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、当第1四半期につきましては新機種の発売はありませんでした。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ24億80百万円増加し、507億38百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が46億82百万円増加したことなどに対し、原材料及び貯蔵品が12億19百万円、有価証券が6億1百万円、繰延税金資産が4億15百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ18億59百万円増加し、94億6百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が10億45百万円、未払消費税等が2億68百万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ6億21百万円増加し、413億32百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ4億11百万円増加し210億86百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、11億95百万円（前年同期は23億33百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益26億71百万円、たな卸資産の減少16億7百万円、未払金の増加4億93百万円などが増加の要因であり、売上債権の増加46億82百万円などが減少の要因であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億68百万円（前年同期は62百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入9億円が増加の要因であり、投資有価証券の取得による支出8億11百万円、有価証券の取得による支出2億99百万円などが減少の要因であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億15百万円（前年同期は5億28百万円の資金の減少）となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上高、損益ともに、順調に推移いたしました。

また、7月下旬納品予定の「CRリング 呪いの7日間」の販売活動につきましても、計画通り推移しており、2万台を超える受注をいただいております。

なお、現在のところ、同機種以降の発売機種の動向などについては確定していないため、平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日発表の業績予想を変更しておりません。

今後、業績予想について修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,674	21,086
受取手形及び売掛金	2,260	6,943
有価証券	1,909	1,307
商品及び製品	430	42
原材料及び貯蔵品	4,468	3,248
前渡金	2,964	2,776
繰延税金資産	1,716	1,301
その他	1,568	1,291
貸倒引当金	△5	△16
流動資産合計	35,987	37,980
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,166	2,137
機械及び装置（純額）	509	466
工具、器具及び備品（純額）	745	823
土地	4,357	4,357
その他（純額）	61	59
有形固定資産合計	7,839	7,844
無形固定資産		
	211	197
投資その他の資産		
長期前払費用	2,262	2,008
その他	2,210	2,960
貸倒引当金	△253	△253
投資その他の資産合計	4,219	4,716
固定資産合計	12,270	12,757
資産合計	48,258	50,738

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,540	4,504
未払法人税等	—	1,045
未払消費税等	—	268
賞与引当金	237	118
その他	1,293	1,993
流動負債合計	6,070	7,929
固定負債		
退職給付引当金	751	752
その他	724	724
固定負債合計	1,476	1,477
負債合計	7,547	9,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	34,663	35,319
自己株式	△486	△486
株主資本合計	40,716	41,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△40
評価・換算差額等合計	△5	△40
純資産合計	40,710	41,332
負債純資産合計	48,258	50,738

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,504	12,553
売上原価	2,983	6,308
売上総利益	1,520	6,245
販売費及び一般管理費	2,156	3,579
営業利益又は営業損失(△)	△636	2,665
営業外収益		
受取賃貸料	18	3
利用分量配当金	16	7
受取ロイヤリティー	16	0
還付加算金	0	6
その他	19	12
営業外収益合計	71	31
営業外費用		
シンジケートローン手数料	8	7
賃貸収入原価	6	5
ゴルフ会員権評価損	4	6
その他	0	0
営業外費用合計	20	20
経常利益又は経常損失(△)	△585	2,677
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
特別損失合計	50	6
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△611	2,671
法人税、住民税及び事業税	55	1,021
法人税等調整額	△275	433
法人税等合計	△220	1,455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△390	1,215

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△611	2,671
減価償却費	382	385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△118	△118
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△18	2
受取利息及び受取配当金	△9	△7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
固定資産除却損	7	6
売上債権の増減額 (△は増加)	5,184	△4,682
たな卸資産の増減額 (△は増加)	212	1,607
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	337
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△51	121
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,571	△238
未払金の増減額 (△は減少)	△905	493
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9	268
その他	△435	328
小計	△1,005	1,184
利息及び配当金の受取額	12	10
法人税等の支払額	△1,340	△1
法人税等の還付額	—	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,333	1,195
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△499	△299
有価証券の償還による収入	700	900
有形固定資産の取得による支出	△191	△43
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△21	△13
投資有価証券の取得による支出	△50	△811
その他の支出	△1	△1
その他の収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62	△268
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△528	△515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△528	△515
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,924	411
現金及び現金同等物の期首残高	26,398	20,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 23,474	※ 21,086

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。